

Cosmic Village ロケット打上応援村プロジェクト 事業計画（案）

1 趣旨

種子島は、人口約 30,000 人の鹿児島県に属する離島である。南種子町は、その種子島の南端、人口 5,800 人の過疎の町で、古くは、鉄砲伝来の地として、現在は、日本の科学技術の粋を集めた種子島宇宙センターを有する町として知られている。

年間、数回のロケットの打ち上げ時には、スタッフを除いて、約 2,000 人から 5,000 人の皆さんが島外から来町し、町の宿泊施設は、スタッフで満杯となり、ロケット打上体験を希望する多くの方々は、断念したり、テントなどで宿泊している。

Cosmic Village ロケット打上応援村は、種子島において、ロケットの打ち上げを体験したい人たちや地元有志が村民となり、打上応援交流イベントや地域活性化のための事業を実施することにより、感動を共有する。また、全国に広がるネットワークを構築し、人と人、人とモノの交流を促進する仕組みづくりを行い、人、モノが移動し、交流が生まれことにより、地域経済とまちの活性化に資する。

また、宇宙少年団活動をとおして、科学する心を養い、友情の輪が広がり、センス・オブ・ワンダーの感性を育む拠点とする。

2 事業実施主体

日本宇宙少年団・南種子町宇宙科学分団 ロケット打上応援村

3 実施場所

鹿児島県熊毛郡南種子町中之上 3 3 7 0 番地 3 周辺

4 事業内容

(1) 宿泊事業

宿泊交流施設「きぼう館」（定員 20 名）及び宿泊施設「デスティニー館」（定員 10 名）を増築し、臨時宿泊施設（小規模保育施設ちびっこくらぶ・定員 15 名）、宿泊交流施設「コロンバス館」定員 5 名とあわせて、最終的に最大 50 名の定員を確保する。

宿泊寄付金は、1 人 1 泊 1,000 円とし朝食及び夕食は材料代を実費負担する。

(2) 交流事業

ロケット打上前夜祭、ロケット打上成功祭を打上の都度実施し、村民の交流を図り、感動体験を分かち合う。

(3) 青少年育成活動事業

現在、中央公民館や南種子町自然の家で実施している毎月 1 回の宇宙少年団活動の拠点とする他、青少年団体の交流の場とする。

(4) 村行事の実施

村民総会、キャンドルナイト CosmicVillage、宇宙神社大祭（村祭り）、星の夕べ、

その他、村の行事を実施し、地域の交流の場とする。

(5) その他

地域の活性化や青少年健全育成の拠点となるイベントを行う。

※施設利用者は、村民とし、村民税を納税し、転入届を村長に提出しなければならない。

5 財源

(1) 施設建設資金

宿泊交流施設「きぼう館」60 m² 18坪 300万円

※内装等は分団スタッフで対応する。

宿泊施設「デスティニー館」10 m²×2棟 50万円

※材料費のみ。10 m²を年次的に建築していく。

トイレ（簡易水洗） 20万円

※材料費のみ。

厨房 100万円

厨房備品 30万円 計 500万円

※借入金及び補助金・助成金、寄付金で対応する。

(2) 施設運営資金

施設利用者 年間延べ400人×1,000円＝40万円

光熱水費 15,000×12月＝180,000円

通信運搬費（電話料）10,000円×12月＝120,000円

合併浄化槽等維持管理費 80,000円

その他消耗品費 20,000円

(3) イベント開催費等

その都度、実費を参加者から徴収し実施する。

(4) 青少年育成事業費

宇宙少年団活動は、分団予算及び子どもゆめ基金など各種助成金で対応。

6 開村予定日

2017年7月 開村予定

7 その他

CosmicVillage ロケット打上応援村は、次の機能を兼ねるものとする。

- ・ロケット打上応援村役場
- ・日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団事務局及び活動拠点
- ・宇宙のまち暮らし応援センター
※南種子町への移住、定住交流、宇宙留学制度の窓口
- ・小規模保育施設「ちびっこくらぶ」
- ・認可外保育施設「きっずくらぶ」（仮称）